

# 令和5年度あきる野市教育の日 第28回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会



中学生の主張大会			
	学校名	氏名	題名
最優秀賞	増戸中学校3年	渡辺 小陽	被害者の思い
優秀賞	秋多中学校2年	沖倉 瑛吾	我慢すること
	東中学校1年	川本 桜子	私は常に考える
優良賞	秋多中学校2年	坂本 音心	幸せ
	増戸中学校1年	廣瀬 巧真	祖父の介護で学んだこと
	御堂中学校3年	加藤 千晴	戦争が生むもの
	五日市中学校3年	中島 詩乃	より良い関係を築くために
	東海大学菅生高等学校中等部2年	小澤 琉生	人間関係を築いていく上で大切な三つのこと
	西中学校2年	寺坂 暉	一つの大切な命を見つめて
	東中学校1年	橋本 紗英	私とじいじ
	御堂中学校3年	小林 寛武	お年寄りを見守る瞳で
	五日市中学校3年	加藤 小花	子どもたちの人権
	東海大学菅生高等学校中等部2年	宮田 美緒	関わる
	西中学校2年	田嶋 心美	皆が気持ちよく SNS を使えるように
小学生の人権メッセージ発表			
	多西小学校6年	岡野 颯大	ぼくたちの人権
前田小学校2年		緑川 潤	心に花を咲かせよう
		大園 愛	
		中田 連太郎	
		原 茉莉花	

令和5年12月2日(土)に第28回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会を秋川キララホールで開催しました。

中学生の主張大会では、市内に在住・在学の中学生の応募者1408人の中から選ばれた14人の生徒が、日常生活を通じて考えていること、願いや希望などを発表しました。

最優秀賞を受賞した渡辺小陽

りです。(敬称略)

また、小学生の人権メッセージ発表では、市内の小学校のうち代表2校の児童が、人権について考えていることを発表しました。

発表者と発表作品は次のとおりです。(敬称略)

## 最優秀受賞作品 被害者の思い

増戸中学校3年  
渡辺 小陽

毎日のようにネットやテレビで事件の報道がされています。そのニュースを見て多くの人が怖い、酷いと感じると思います。では、その後被害者はどんな気持ちでいるか、どんなふうに関わりを過ごすのかをきちんと考えている人がどれだけいるのでしょうか。私自身も今まで深くは考えていなかったです。それは犯罪はどこか他人事で自分にとって現実味がなかったからだと思います。しかし、犯罪がどれだけ被害者を傷つけるのかを知る出来事が昨年私に起きました。

本屋で盗撮被害にあったのです。私が本を探していると、近くにいた人に教えて頂き、盗撮されたことを知りました。その後、店員さんに伝え、店員さんがその人に声をかけた瞬間その人は逃走しました。私はその人の顔を見て、恐怖と気持ち悪さで震えました。その後警察の方に来て話をし、色々なことを聞かれ、そして最後に「なるべくスカートは履かない方がいいですよ。」と言われました。今後被害に遭わないためにスカートについて、声をかけてくれたこととはわかっていましたが、スカートを履いていた私が悪かったのかと悔しく、そして悲しい気持ちになりました。その日から

しばらくスカートが履けなくなり、道を一人で歩けなくなり、お店で買い物をする時には常に盗撮をされてしまうかもしれないと後ろを気にしてしまい、何度も何度も振り返ってしまうのです。時々、その盗撮した人の顔を思い出し、気持ち悪さに襲われ、辛かったです。先生方や家族に制服のスカートをしばらく着られない事を相談すると、私の気持ちを理解し、優しく見守ってくれました。先生が母に「制服はスラックスに替えることもできるので安心してください。」と言ってくれたそうです。私の周りには支えてくれる人がいることにも救われました。だからこそ少し時間はかかりましたが、またスカートが履けるようになりました。もし私に相談できる人がいなかったら、今でも嫌な思いを抱えたまま日々を過ごしていたと思います。

「盗撮」と聞いて皆さんはどう思うでしょうか。直接触られたり、身体を傷つけられたわけではないので犯罪としては軽いと思うかもしれませんが、私はこの被害に遭って思ったこととあります。それはどんな犯罪であっても被害者は被害にあったときだけでなく、その後の日常を奪われ、その時のことを思い出し、何度も心を傷つけられてしまうという事です。どんな犯罪だとしても軽いということは無いのです。それは傷つ



く人が絶対にいるからです。インターネットやSNS等で犯罪被害者を誹謗中傷する記事も被害者を傷つける一つの要因だと思います。被害者は被害に遭って心に傷を負っているのに、さらに傷つける人がいる、それがとても悲しいです。罪を犯す人、誹謗中傷する人によく考えてほしいことは、安易なことと行った行為が、傷つけられた人にとってはその後の人生を変えてしまうほどの傷になるかもしれないということです。

私はこの体験を話す事に最初は躊躇しました。怖い思いや情けない思い、自分を責めたり、不安になることもありました。しかし、私の周りには私を見守ってくれる人、寄り添ってくれる人がいたので前向きになりたいと思うようになりました。

犯罪が起らない世の中、それが理想です。しかし、今後も犯罪がゼロになることは難しいでしょう。被害者が一人で立ち直ることはとても難しいことです。周りの人に支えられてまた前を向くことができる私は幸いです。傷ついた人がいたら、批判したりせず相手の立場になって考えられる人が沢山いる、優しい世の中であってほしいです。